

10月、神無月になりました。

神無月の由来は、神様がみんな出雲の国に集まってしまっていて地元の神社にはいなくなることから、逆に、出雲では十月は神在月と言うそうです。

10月は三学期制の中高では中間テストの時期になります。テストの神様が、出雲のように自分のところに集まってくれるとうれしいと思う生徒は多いでしょう。

でも、神無月ですから、自分で努力しなければ成果は得られないということもありません。

そんな季節、今月もネットワークの活動を報告するとともに、授業に役立つ情報を提供いたします。

---

#### 【1】最新活動報告

9月の活動を報告します。

#### 【2】イベントカレンダー

これからの活動の予定、冬の経済教室の案内を紹介します。

#### 【3】授業のヒント

---

#### 【1】最新活動報告

---

9月に行われた活動を報告します。

#### ■東京部会 (No. 77)を開催しました。

日時：2015年9月5日(土) 14時00分～16時30分

場所：日本大学経済学部(本館2階会議室)

参加者：22名

主な内容：

(1) 今回は、札幌から川瀬雅之先生、大阪から山本雅康先生が参加され、22名という多数の参加者がありました。

(2) ネットワークの事業関係の確認が以下の通り行われました。

①夏の経済教室を踏まえた、経済教室を日本証券取引所グループと共催で行うこと。さしあたりは、今冬、札幌開催を検討する。

②年次大会は、3月19日(土)午後同志社大学で実施する。内容は、高校入試問題の検討、各部会で検討された授業提案、教材の発表・討論を予定。

(3)「夏休み経済教室」のアンケート結果の中間報告が、東京証券取引所石山晴美氏からありました。

総参加者数、967名、昨年より64名増加で、この数字は三会場としては最高とのこと。また、参加者の教員は、どの会場でも10年未満の経験年数の方の比率が最も高く、特に、大阪と東京中学向けでは半数以上を占めた、とのことでした。各講義、実践報告などプログラムでは、参考になったとの評価が多く、先生方に役立つ内容が提供できていることが確認されました。

(4) 札幌部会の川瀬雅之先生（北海道札幌開成高校）から以下のような報告がありました。

- ①札幌部会の活動の様子。
- ②北海道の先生方<北海道高等学校政治経済研究会（道政研）>による調査から高校の経済教育のなかで指導に困難を感じている項目の紹介。
- ③中高の接続による経済教育の課題の紹介。
- ④地域の身近な素材・題材の教材化の現状。
- ⑤川瀬先生自身が生徒に教えたいことの紹介。
- ⑥川瀬先生をはじめとした北海道の先生方の授業実践の事例報告。

札幌部会の活動、北海道の地域性を踏まえた実践事例など、豊富な資料に基づく有意義な報告でした。

(5) 大阪部会の山本雅康先生（奈良学園中高）から以下の報告がありました。

- ①私立の中高一貫校でのご自身の取り組みの概略。
- ②授業構想が二つ紹介された。一つは、「幸せの人生を経済しよう」を基にしたアクティブラーニングの授業。もう一つは、ホームルームでの国際理解の授業構想で、教材「グローバル社会を生き抜くために」を使ったもの。
- ③センター指導に関連して、高校三年生の生徒からとったアンケート（内容の理解度の確認シート）が資料として紹介されたが、時間の関係で十分な検討ができませんでした。

受験指導の中で、経済の概念や理論をしっかりと押さえたうえで、現実問題を考察させようとする指向が、参加者に強い印象を与えました。

(6) その他

- ①高橋勝也先生（桜修館中等教育学校）から、新教科「公共」の情報が寄せられました。
- ②新井から、メルマガの「三匹の子豚」提案の顛末と、その修正版（名古屋大学荒渡先生の作成したメモ）が紹介されました。また、大学入試問題の検討の方向のメモも紹介されました。

今回の東京部会は、川瀬、山本両先生の報告を中心に充実したものとなり、今後の、部会間交流、教材の検討を中心にした部会運営の方向性を示すものとなったと言える内容でした。

内容の詳細は以下のHPを参照してください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo077report.pdf>

■札幌部会（No. 14）を開催しました。

日時：2015年9月12日（土） 14時30分～17時00分

場所：キャリアバンク セミナールーム

参加者：10名

主な内容：

(1) 野間敏克先生（同志社大学）より、札幌での「経済教室」の開催の旨について説明があり、日程と講師の調整を行い、第一希望を来年の1月30日としました。

(2) 高校入試の検討プロジェクトが紹介され、来年三月の年次大会で同テーマの発表の際には札幌部会からは山下豊先生（札幌市立簾舞中）を推薦することになりました。中学教科書の比較検討プロジェクトの提案には、北海道の中学校の先生でチームを組んで検討を行う方向での確認を行いました。

(3) 川瀬雅之先生（札幌開成高）より、9月5日の東京部会での報告がありました。

(4) 東京部会での山本雅康先生（奈良学園中高）によるジグソー法の実践の紹介を踏まえてジグソー学習に関する討論が行われました。

(5) 兼間昌智先生（札幌市立常盤中）より、夏の経済教室（大阪中学の部）における実践紹介「入試問題を授業で活かすポイントはこれだ！」の振り返りが行われました。また、関連した二つ学習指導案も提示され、これらについて意見交換が行われました。

①「暮らしと経済」～コンビニ、スーパー、デパートのジュース価格の違いとその理由を生徒に認識させることをねらいとした授業

②「鎖国と松平定信の関わり」～松平定信の通商政策に関して、鎖国派と通商派に分かれ、ディベートを行わせるという授業

(6) 山崎辰也先生（北海道北見北斗高）より、夏の経済教室（東京高校の部）における実践紹介「経済学を用いた地理の授業づくり」の振り返りが行われました。また、この報告の学習指導案を示したものとして、7月に刊行された『中等社会科 21世紀型の授業実践』（学事出版）が紹介され、意見交換が行われました。

(7) 竹内大輔先生（日高町立日高中）より、夏の経済教室における鈴木深氏の資料「知っておきたい証券取引所の役割！」を使って作成した、「株式の市場価格の決まり方」についての授業案が提示され、意見交換が行われました。

内容の詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/Sapporo/Sapporo014report.pdf>

■京都部会 (No. 30)を開催しました。

日時：2015年9月18日(金) 19時00分～21時00分

場所：同志社大学 良心館4階第二共同研究室

参加者：8名

主な内容：

(1) 経済教育ネットワークの篠原総一代表者から今年8月に実施された「先生のための夏休み経済教室」についての報告がされました。

(2) 上畑直久先生(京都市立栗陵中)から今秋に全国銀行協会との共催で取り上げられる予定の「生活設計・マネープランゲーム」についての紹介があり、検討が行われました。

(3) 西村理先生(同志社大学)から「先生のための夏休み経済教室 in 東京(高校)」で報告した「大学入試問題を活用した経済学習の進め方」についての内容紹介がありました。

詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto030report.pdf>

■大阪部会 (No. 45)を開催しました。

日時：2015年9月26日(土) 18時00分～20時00分

場所：同志社大学 大阪サテライト

参加者：9名

(1) 篠原総一代表(京都学園大学)から、経済教育ネットワークの最近の活動報告が行われました。8月に日本取引所と共催した夏の経済教室、9月の東京部会などの内容や結果が紹介されました。

9月4日の理事会、評議員会で承認された今年度の活動方針が紹介され、2016年度から採用される中学公民教科書の比較検討、高校入試問題の検討などが新しく実施され、年次大会でも、これらを取り上げることが紹介されました。

(2) 野間敏克先生(同志社大学)から、9月の札幌部会の様子と、竹内大輔先生(日高町立日高中学校)の株式市場に関して作られた授業教材が紹介されました。

(3) 京都部会で報告された上畑直久先生(京都市立栗陵中)の「生活設計・マネープランゲーム」の指導案が、大阪部会でも報告された。

全国銀行協会が原案をつくった教材で、カードに基づいて20代、30代の収入、支出、貯蓄などが決まっていくゲームをし、結婚、子育て、住居購入などについて考えさせるものです。

討論では、現実感のある金額が設定されているが、結婚や子育てによって貯蓄がマイナスになることも生じるような、子供たちを意気消沈させる可能性のある教材であるため、金銭以外の幸せポイントのような前向きな要素を強めた方がよいという点が指摘されました。

また、ほとんどすべてがカードめくりによって決定されていくため、人生が運だけで決まり生徒自身の意思決定の機会がないことが問題ではないかとも指摘があり、改善の提案もいただきました。内容の詳細は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka45report.pdf>

#### ■教材開発が進んでいます

東西の教材検討委員会の活動が進行中です。

西では、夏の経済教室で紹介された地理と経済の融合教材。世界編が完成。現在日本編の作成を行っています。

また、夏の経済教室で紹介された東の「たこ焼き屋（企業）」の教材、「時間の経済学」の教材の作成が進行中です。

いずれも日本経済教育センターから提供中、もしくは提供される予定です。

なお、地理教材の「グローバル時代を生き抜くために」は、すべてのセットの在庫がなくなったために現在は無償提供は停止中です。

各地の部会で提案された教材が、エコノミストの協力を得て、教材として現場に提供される流れをさらに作ってゆくことが期待されています。

---

## 【 2 】 イベントカレンダー

---

\*10月以降の部会やイベントの予定です。

#### ■東京部会（No. 78）を開催します

日時：2015年10月8日（木） 19時00分～21時00分

場所：日本大学経済学部 本館2階中会議室

参加方法などは以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo078flyer.pdf>

#### ■名古屋部会（No. 3）を開催します

日時：2015年10月17日（土） 15時00分～17時00分

場所：椋山女学園大学 現代マネジメント学部棟3階 303講義室

参加方法などは以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/nagoya/Nagoya003flyerR.pdf>

#### ■京都部会（No. 31）を開催します

日時：2015年10月23日（金） 19時00分～21時00分

場所：同志社大学 良心館4階第二共同研究室

参加方法などは以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto031flyer.pdf>

#### ■冬の経済教室 in 東京を開催します

昨年好評だった、宮尾尊弘先生（筑波大学名誉教授）による経済教室を今年も冬の経済教室として開催します。テーマは、「次期学習指導要綱を先取りする：学習のあり方と『公共』の教え方」を予定しています。内容は、主体的に学ぶ態度と課題解決型の能力の育成を目指す学習の在り方と、公共経済学を教える方法の二部構成を予定しています。

日時： 2016年1月23日(土) 14:30～16:30(受付開始14:00～)

場所： LMJ 東京研修センター

東京都文京区本郷1-11-14 小倉ビル3階

(JR 総武線 水道橋東口より6分)

内容、参加方法などは以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/keizaikyousitu/2016%20keizaikyoushitsu/2016fuyukeizai%20.pdf>

#### ■冬の経済教室 in 札幌を開催します

夏の経済教室の成果を生かした冬の経済教室を札幌で実施いたします。

日時： 2016年1月30日(土) 13:00～17:00

場所： キャリアバンク セミナールーム

札幌市中央区北5条西5丁目7番地

sapporo55 5階 (JR 札幌駅紀伊国屋のビル)

内容、参加方法などの詳細は決まり次第HPにアップいたします。

---

### 【 3 】 授業のヒント

---

#### ■多数決を疑ってみよう

中学校では、公民的分野の授業が本格化しているところだろうと思います。経済から入るか、政治から入るか、教科書によってもまた先生の方針によっても違う可能性があります。今回紹介するのは政治でも経済でも扱える素材です。とはいえ、政治学習で扱うほうが扱いやすいかもしれません。

テーマは多数決です。私たちはいろいろな決定を多数決で決めます。この9月に国会を通過した安保法案も、国会外でのデモの盛り上がりがありましたが、結局は多数決で通過しました。でも、その多数決が本当の民意を反映したものなのか、また他の方法はなかったのかという疑問は残ります。

この種の多数決は、学校でもおこります。簡単な例を挙げてみます。

三年生のお別れイベントの候補地をクラスで決めることになりました。多数決で決めることをあらかじめ約束して、決をとったところ、演劇鑑賞 12 票、キャンプ場でバーベキュー 10 票、遊園地 4 票となりました。多数決で決めるというあらかじめの約束で演劇鑑賞に決まりそうです。

でも、遊園地に投票した A さん、演劇にするんだったらバーベキューがよかったと  
思っていて不満です。クラス全体でも半数以上の人は、室内の演劇より外に出かけたい  
と思っているのに、これでよかったのだろうかと内心不満に思っているようです。

この種の投票の問題は、古くから取り上げられていて、有名なのはコンドルセの  
パラドックスで、上の事例にあわせると次のようなケースになります。

演劇、バーベキュー、遊園地のどれをクラスの人たちが好んでいるかが次のように  
なっています。

	1 位	2 位	3 位 (選好順序)
12 人 :	演劇	> 遊園	> B Q
10 人 :	遊園	> B Q	> 演劇
4 人 :	B Q	> 演劇	> 遊園

この時二つの候補で多数決をとると、演劇は遊園地に勝ち、遊園地は B Q に勝ち、  
B Q は演劇に勝ち、多数決では決まらないことになってしまいます。このケースを  
さらに一般的に拡張して、民主的な決定はできないことを証明したのがアローの  
一般不可能性定理です。

このような投票の問題は、経済では効用の比較可能性という問題と結びついて  
厚生経済学の議論になってゆくのですが、それは専門のエコノミストの研究にまかせる  
として、政治の問題だけでない広がりをもっていることを確認しておいてください。

さて、授業では、みんなの一番納得する結論を得るには、どうすればよいかを考え  
させてみてください。さらに、現実の具体的事例、政治では国会の議決と民意の関係、  
経済ではどの政策にどれだけの順位でお金を投じるかなどで考えさせると、多数決の  
問題点が浮かび上がるはずで

なお、多数決問題を含めた社会的選択理論を紹介した最近の本に、坂井豊貴さんの  
『多数決を疑う』岩波新書があります。上記の数値例は、この本を参照しています。

(新井)

---

#### 【 4 】編集後記 (みみずのたはこと)

---

先日、経済教育学会というところへ出席してきました。ネットワークのメンバーも  
多く参加して、研究発表を行っています。私が出席したのは、特別分科会という  
学術会議が発表した経済学の参照基準を検討する分科会でした。

そこでの議論で特徴的だったのは、大学の先生たちと高校までの現場の先生たちの学習指導要領や教科書に対する感覚の違いでした。大学の先生たちは、指導要領や教科書に拘束されている学校現場の空気をなかなか理解できないようです。仕方がないこととはいえ、参照基準の問題よりも、そちらの方に大きな問題を感じました。

ネットワークはエコノミストと現場の先生方之间を埋めることを活動の目標の一つとしています。両者の協力がもっと進むにはどんなことが必要か。課題はたくさんあると感じた学会でした。(新井)

---

=====  
登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は下記会員ページよりお手続き下さい。

<http://www.econ-edu.net/aboutus/contact.html>



編集・発行 : 経済教育ネットワーク

————— (C) Network for Economic Education ◆◇